

校長通信「学ばん共に」



その8 「学舎は人と人とのかかわりを学ぶ場所」(全校集会 校長の話)



11月29日 表彰 女子バスケ 地区新人ベスト8

▶年度初めに私が掲げた「可美中学校の今年の目標と方針」…みなさん覚えていますね。方針2「感動ある行事」については、行事ごとに、すでにアンケートの結果が出ています。「満足」または「ほぼ満足」という肯定的な回答をした人の割合を発表します。文化発表会は満足度**95%**でした。体育大会は**98%**でした。先週行われた1年生とひまわり学級の職場体験は97%でした。2年生の野外活動は**98%**でした。そして、3年生の修学旅行は**99%**です。その内訳は「満足」83%、「ほぼ満足」17%でした。いずれの行事も昨年度と同様、またはそれ以上に満足感や充実感のあふれる見事な行事になりました。「行事に燃える可美中生」の伝統が確実に受け継がれていると感じます。これについても、1年を振り返り、行事全般に対する個人の取組について明日アンケートで答えてください。

▶そして、方針3の「仲間を大切にし、支え合う生徒」。この方針は、心の中のことで、心の中身は人には見えませんから、言葉にしたり、行動や表情であらわしたりしないかぎり、周りには伝わりません。みなさん…どうですか。この方針3について、「仲間を大切にし、支え合う」ことができた。私はそれを心がけてやってきた。そういう態度で仲間と生活できたと言える人が先ほどの行事アンケートと同じように9割を大きくこえるようになれば、それこそ、私は「希望輝く 可美の学舎」に近づいていると思います。だから、私はこの方針3が最も気になります。

▶もしかしたらみなさんの中には「仲間なんていな

い」と感じている人もいるかもしれません。10代にはそう思う時期もあります。でも、私はこう思うのです。一緒に毎日生活して笑顔で接していたら…もう仲間。相手がどう思っていようと、自分は相手を傷つけない、相手のことを信じている…そういう思いでいると相手もあなたの温かい気持ちにきっと気づきます。クラスの仲間、部活の仲間、同じ係をする仲間、同じ場所を掃除する仲間、休み時間に何気ないおしゃべりをする仲間…いずれもこの可美中で出会った仲間です。その仲間に対してあなたは、誠実にいつわりなく、真っ直ぐに向き合っていますか。仲間とは、言葉を交わさなくても気持ちが通じ合える間柄だとよく言います。でも、時には目を見て、本当の気持ちを自分の言葉で話すことも必要です。**学舎は人と人とのかかわりを学ぶ場所**です。

「かかわる力」を身につける練習は日々の生活で行われています。そして、それこそが「心」を校訓に掲げる、可美中学校の一番大切な学びです。可美中生全員が、この学びを大切にできるように、心から願っています。

▶最後にもう一つ、話したいことがあります。少し先の話になりますが、1月23日に予定されている「やらまいか講演会」のことを話します。今まで、タレントの久保ひとみさん、落語家の瀧川鯉昇さん、起業家の池野文昭さんなど、可美中や浜松にゆかりのある有名な方をお呼びしてお話を聴いてきました。どの講演会も素晴らしい会となりました。この会は学校運営協議会…地域・保護者の代表の方と相談する中で講師を選び、企画してきたものです。「可美中生に地域の魅力を感じてもらいたい」「将来の夢について考える機会を提供したい」という願いのもとで開かれてきました。今年度はこの方をお呼びします。「浜松市長 中野祐介さん」です。中野祐介さんは、浜松出身の新しい市長さんです。今年は企画も少し変更します。前半の40分は市長さんからお話をいただきます。そして、後半の50分はトークセッションというスタイルで話し合う予定です。可美中出身の「市議会議員 小野田康弘さん」と可美中生の代表6名が加わります。トークセッションに参加する6名は当日に向けて少しずつ準備を進めています。よいアイデアが思いついた人は身近な代表に是非伝えてあげてください。…私の話は以上です。最後まで熱心に聞いてくれて、ありがとうございました。(北村健治)